

# 平成24年3月期 決算説明資料



  
JASDAQ上場：証券コード8740

# 目 次

企業集団の状況	...	1
事業所	...	2
平成24年3月期決算について／表紙	...	3
平成24年3月期決算の概要	...	4
事業の種類別セグメントの業績概要	...	5
業績概況(連結)	...	6
業績概況(個別)	...	7
貸借対照表(連結)	...	8
貸借対照表(個別)	...	9
業績推移(連結)	...	10
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	...	11
＜投資サービス事業＞四半期営業収益の推移(連結)	...	12
＜生活・環境事業＞四半期営業収益の推移	...	13
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)	...	14
＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)	...	15
平成25年3月期業績予想について／表紙	...	16
平成25年3月期業績予想について	...	17

本資料は、平成24年3月期の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、3月31日時点でのデータを元に作成しております。

# 企業集団の状況

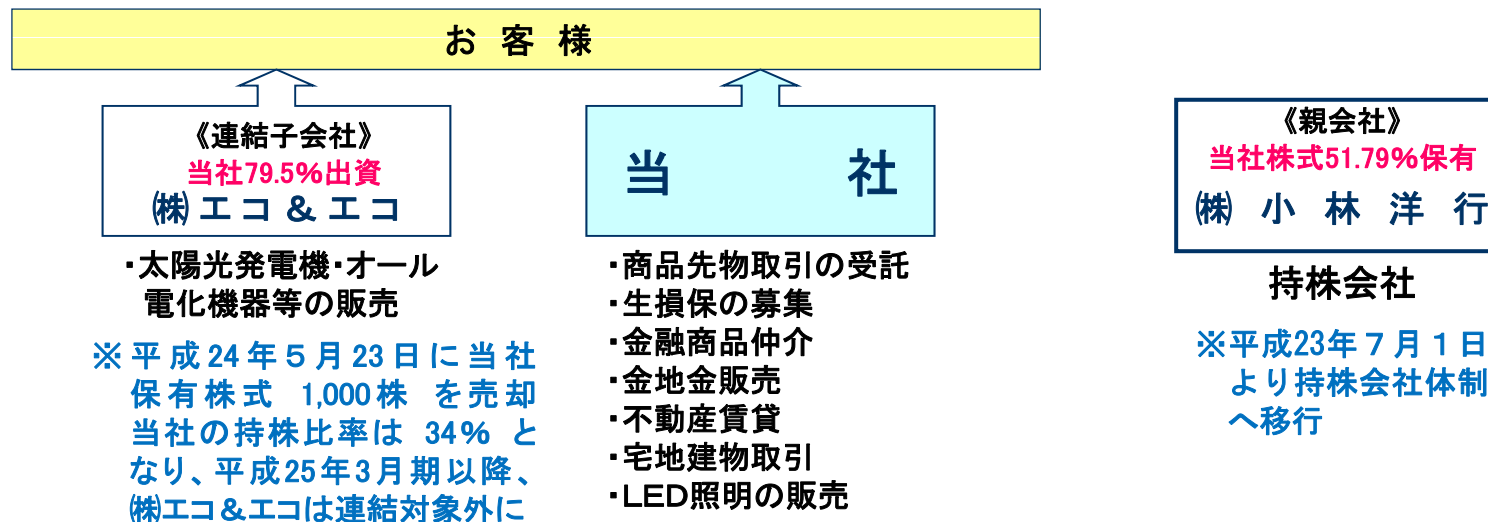
当社グループは、当社及び連結子会社1社により構成されております。また、親会社として㈱小林洋行が当社株式の51.79%を保有しております。当社グループの事業内容は次のとおりであります。

## (1) 投資サービス事業

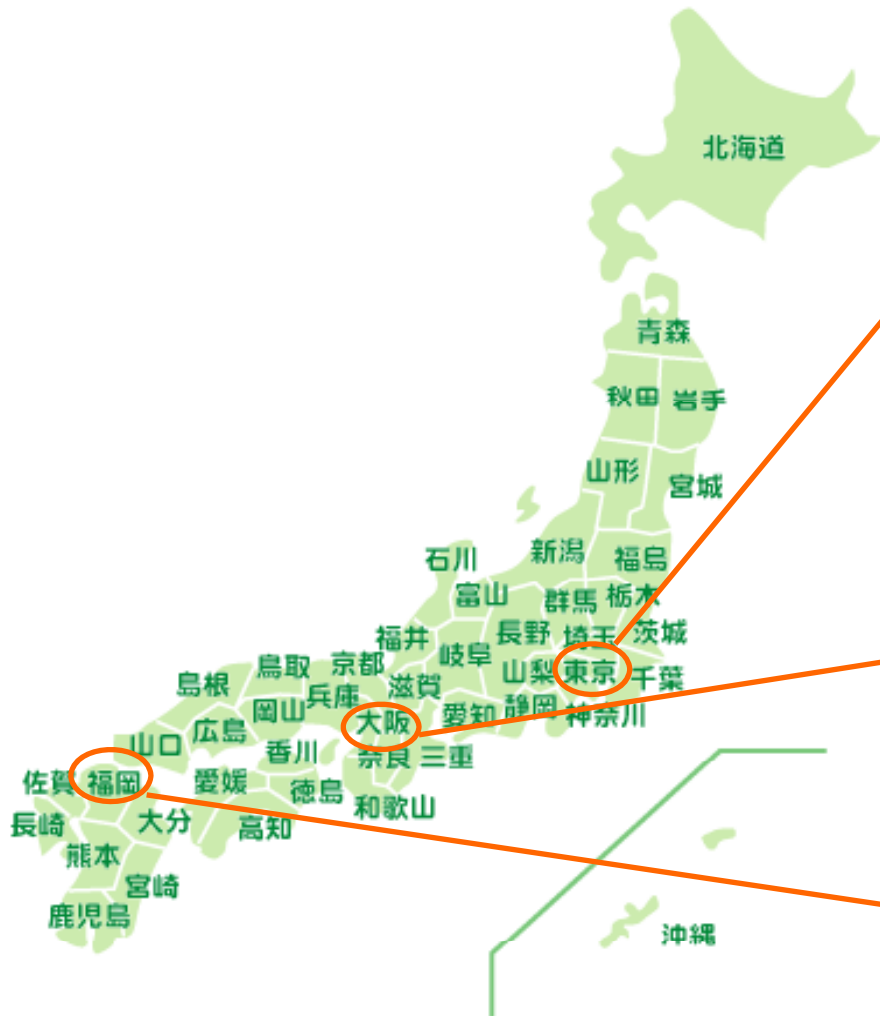
- ①商品先物取引業：当社が、商品先物取引法に基づき設置された商品取引所が開設する商品市場に上場されている各種の商品先物取引について、顧客の委託を受けて執行する業務(受託業務)及び自己の計算に基づき執行する業務(自己売買業務)を行っております。
- ②その他：当社が、金融商品仲介業務及び金地金販売を行っております。

## (2) 生活・環境事業

- ①太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業：子会社㈱エコ&エコが、太陽光発電機・オール電化機器等の販売及び設置工事を行っております。
- ②保険募集業務：当社が、生命保険の募集業務及び損害保険代理店業務を行っております。
- ③その他：当社が、業務用LED照明の販売、不動産賃貸及び宅地建物取引業を行っております。



# 事業所



## <東京地区>

本 社：東京都中央区日本橋蛸殻町  
1-15-5

子 会 社：株式会社エコ&エコ（本社）  
東京都新宿区新宿 1-8-1

## <関西地区>

大阪支店：大阪市中央区南船場3-4-26

## <九州地区>

福岡オフィス：福岡市早良区西新5-3-9

子 会 社：株式会社エコ&エコ（福岡支店）  
福岡市中央区天神 3-3-6

# 平成24年3月期 決算について



# 平成24年3月期決算の概要

## <業界環境>

わが国の商品先物取引市場は、平成16年の商品取引所法の改正以降、商品取引員に対する勧誘規制の強化などにより、市場の規模の縮小傾向が続いておりますが、世界経済の先行き不安から安全資産として金が見直され急騰したことなどにより、当連結会計年度の全国商品取引所の出来高合計は3,290万枚(前期比3.5%増、平成16年3月期比78.9%減)となりました。ただし、貴金属以外の市場は出来高の減少が続きました。

太陽光発電に関しましては、原子力発電所の事故による自然エネルギー指向の高まりなどから、需要は拡大しておりますが、販売競争の激化や国の補助金の対象価格引下げなどで販売価格は低下傾向にあります。また、電力不足などの影響で、IH調理器やエコキュートなどオール電化機器は低調でした。

## <当社グループの営業成績>

このような環境のなか、当社グループは、商品先物取引業務については、当社の本社及び大阪支店に業務を集約した新体制で、営業費用の大幅な削減を図ると共に、収益維持のための集客力強化に努めました。

太陽光発電機・オール電化機器等の販売につきましては、静岡営業所の開設など営業強化を図り、保険募集業務につきましても、法人顧客の開拓や福岡の来店誘致型店舗の活用など業容の拡大に努めました。

なお、当社は震災リスク軽減のため、12月に旧耐震基準の東京都新宿区の旧本社ビルから東京都中央区の(株)小林洋行(親会社)所有ビルに本社を移転し、旧本社土地建物は移転後に売却しております。

これらの結果、当連結会計年度の連結業績は次の通りとなりました。

営業収益	1,860百万円	(前期比 2.0%減)
営業費用	1,385百万円	(前期比 29.3%減)
営業損失	333百万円	(前期は営業損失 767百万円)
経常損失	314百万円	(前期は経常損失 745百万円)
当期純損失	467百万円	(前期は当期純損失 900百万円)

# セグメント別の業績概要

## 1. 投資サービス事業

当連結会計年度の投資サービス事業の営業収益は744百万円(前期比21.1%減)、営業損失は257百万円となりました。

### ①商品先物取引受託業務

子会社丸梅(株)の商品先物取引受託業務の廃止(平成23年3月末)による減収(前期の同社の受取手数料315百万円)等の要因があり、当連結会計年度の受取手数料は722百万円(前期比23.1%減)となりました。

### ②商品先物取引自己売買業務

当連結会計年度の売買損益は4百万円(前期は△0.6百万円)となりました。

### ③その他

金地金販売による売買損益は14百万円(前期は2百万円)、金融商品仲介業の受取手数料は1.4百万円(前期は0.8百万円)、情報提供報酬等は1.2百万円(前期は0.9百万円)となりました。

## 2. 生活・環境事業

当連結会計年度の生活・環境事業の営業収益は1,115百万円(前期比16.7%増)、営業損失は76百万円となりました。

### ①太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

当連結会計年度の売上高は994百万円(前期比9.8%増)となりました。売上高の内訳は完成工事高682百万円(前期比15.3%増)、卸販売高311百万円(前期比1.9%減)となっております。

### ②保険募集業務

当連結会計年度の受取手数料は62百万円(前期比50.7%増)となりました。

### ③その他

LED照明の売上高は18百万円(前期比102.5%増)、新たに開始した不動産賃貸の収入は21百万円、不動産販売の売上高は19百万円となりました。

## 業績概況（連結）

（単位：百万円）	H23. 3期	H24. 3期	対前年比増減
営業収益	1,898	1,860	△ 38
内 受取手数料	981	786	△ 195
営業利益	△ 767	△ 333	434
経常利益	△ 745	△ 314	430
当期純利益	△ 900	△ 467	432
一株当たり当期純利益	△ 134.78円	△ 70.64円	64.14円
一株当たり純資産額	556.26円	481.61円	△ 74.65円
自己資本比率	59.9%	58.7%	△ 1.2%
ROE（自己資本利益率）	△ 21.5%	△ 13.6%	7.9%
ROA（総資産利益率）	△ 10.7%	△ 5.4%	5.3%



## 業績概況（個別）

（単位：百万円）	H23. 3期	H24. 3期	対前年比増減
営業収益	698	873	174
内 受取手数料	686	786	99
営業利益	△ 682	△ 297	385
経常利益	△ 650	△ 283	366
当期純利益	△ 1,288	△ 544	743
一株当たり当期純利益	△192.84円	△82.25円	110.59円
一株当たり純資産額	568.15円	481.89円	△86.26円
自己資本比率	62.5%	60.3%	△2.2%
ROE(自己資本利益率)	△28.9%	△15.7%	13.2%
ROA(総資産利益率)	△9.3%	△5.0%	4.3%

# 貸借対照表（連結）

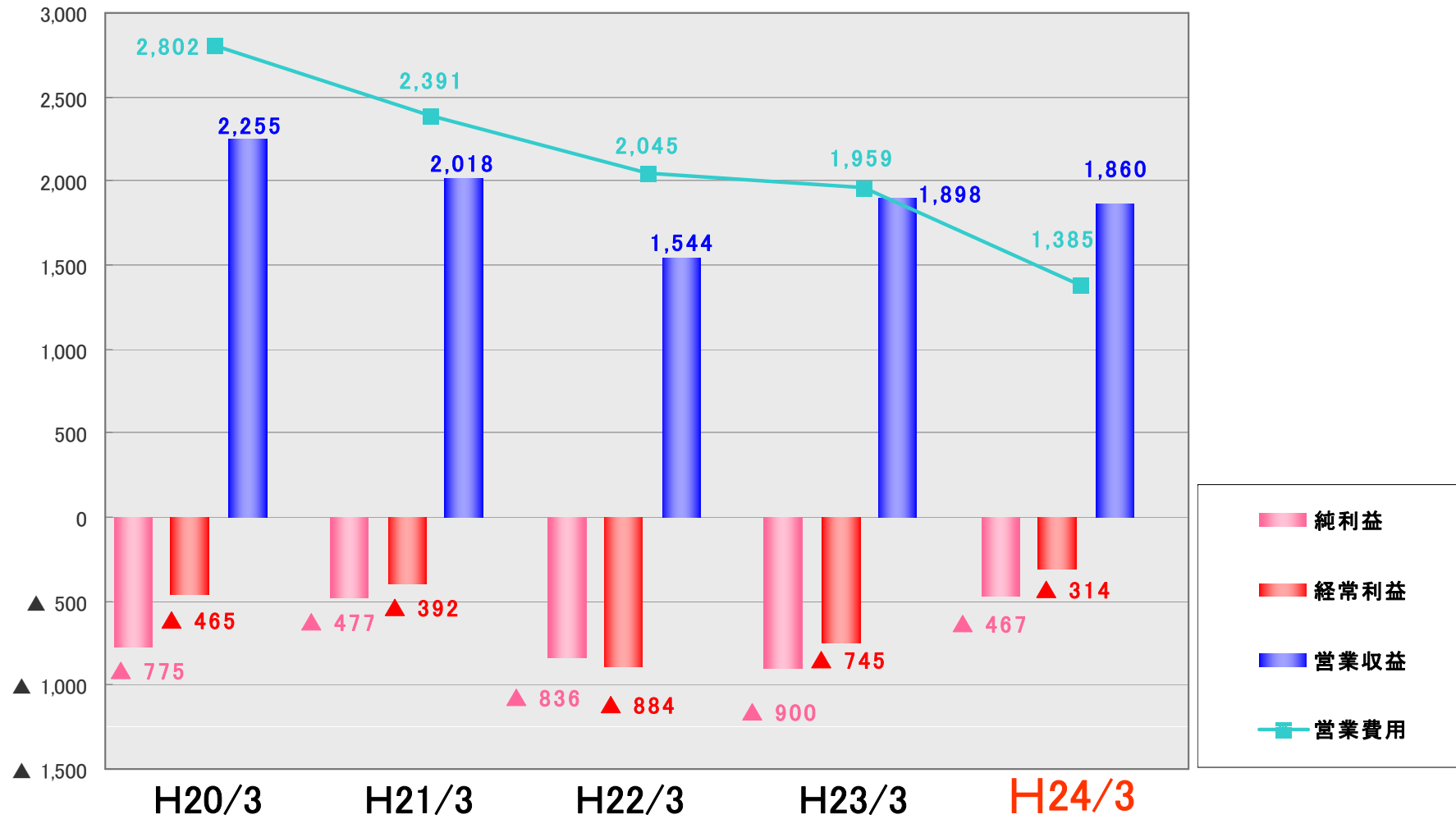
（単位：百万円）	H23. 3期	H24. 3期	対前年比増減
流動資産合計	4,535	4,134	△ 400
内 現金及び預金	2,177	1,762	△ 415
固定資産合計	1,616	1,297	△ 319
内 投資有価証券	387	398	11
内 土地 建物	873	517	△ 356
資産合計	6,152	5,431	△ 720
流動負債合計	2,179	1,985	△ 194
内 預り証拠金	1,973	1,836	△ 136
固定負債合計	241	225	△ 15
負債合計	2,464	2,237	△ 226
純資産合計	3,687	3,193	△ 493
内 その他有価証券評価差額金	44	37	△ 6

# 貸借対照表（個別）

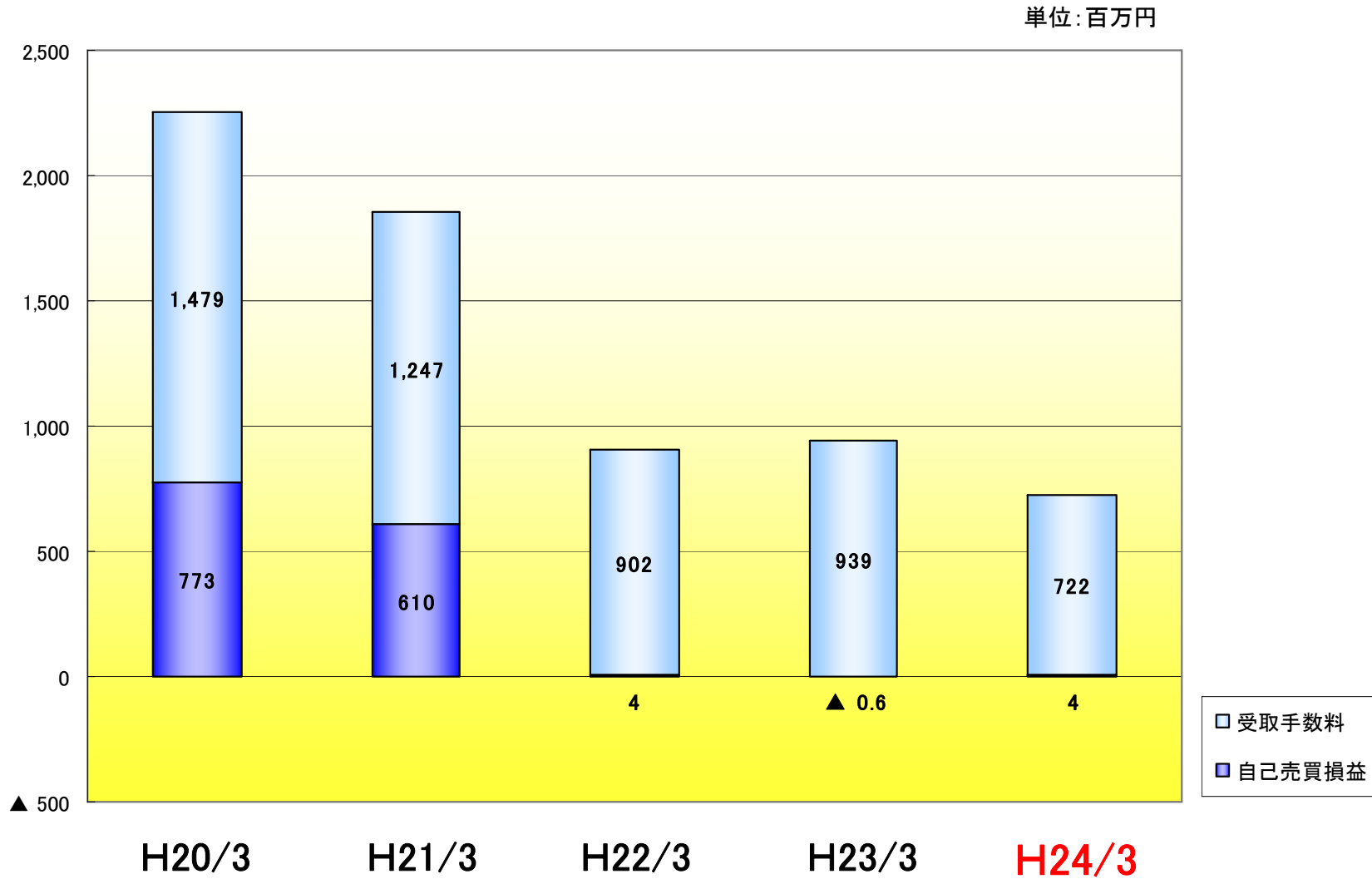
（単位：百万円）	H23. 3期	H24. 3期	対前年比増減
流動資産合計	4,150	4,019	△ 131
内 現金及び預金	1,873	1,712	△ 160
固定資産合計	1,876	1,273	△ 602
内 投資有価証券	357	368	11
内 土地 建物	875	519	△ 356
資産合計	6,027	5,293	△ 733
流動負債合計	2,061	1,905	△ 156
内 預り証拠金	1,973	1,836	△ 136
固定負債合計	175	168	△ 6
負債合計	2,263	2,100	△ 162
純資産合計	3,763	3,192	△ 571
内 その他有価証券評価差額金	44	37	△ 6

# 業績推移（連結）

単位：百万円

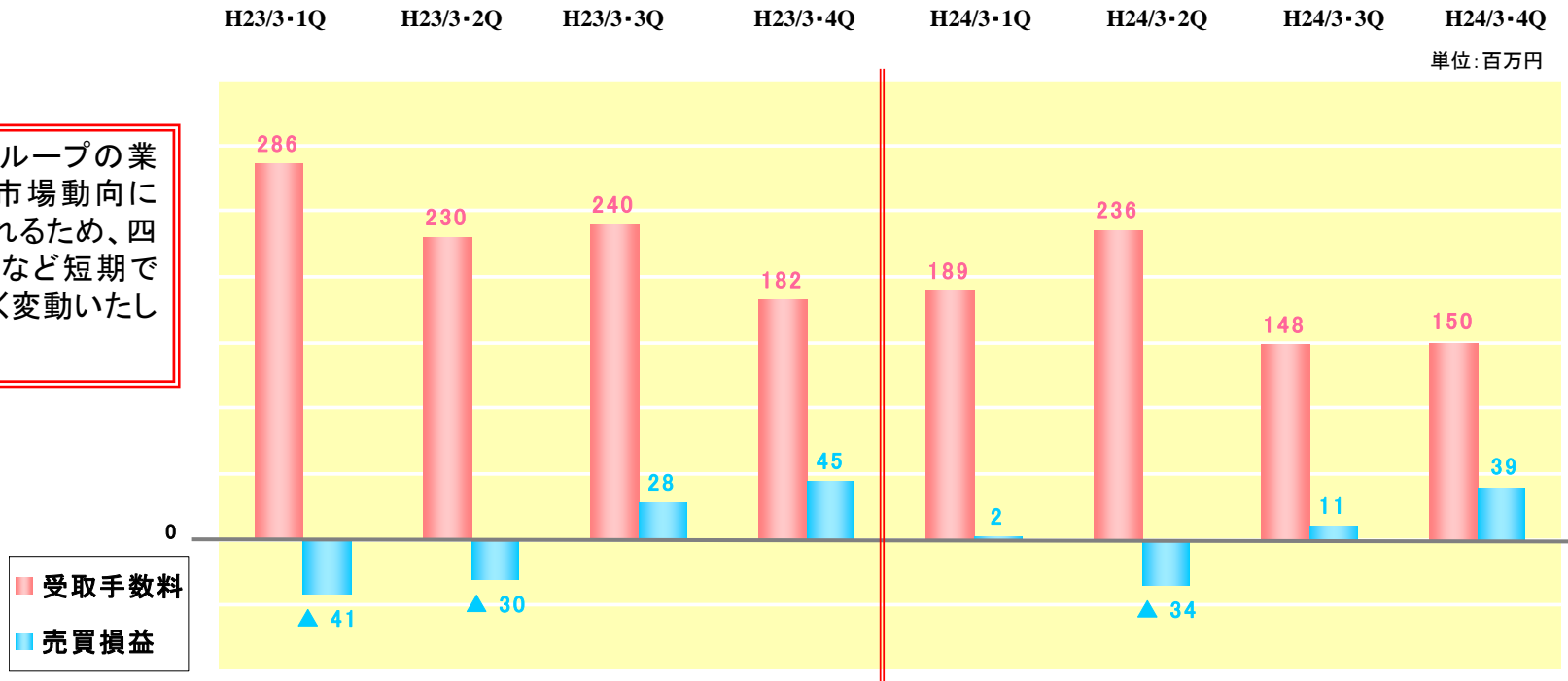


# ＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)



## ＜投資サービス事業＞四半期営業収益の推移(連結)

当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動いたします。

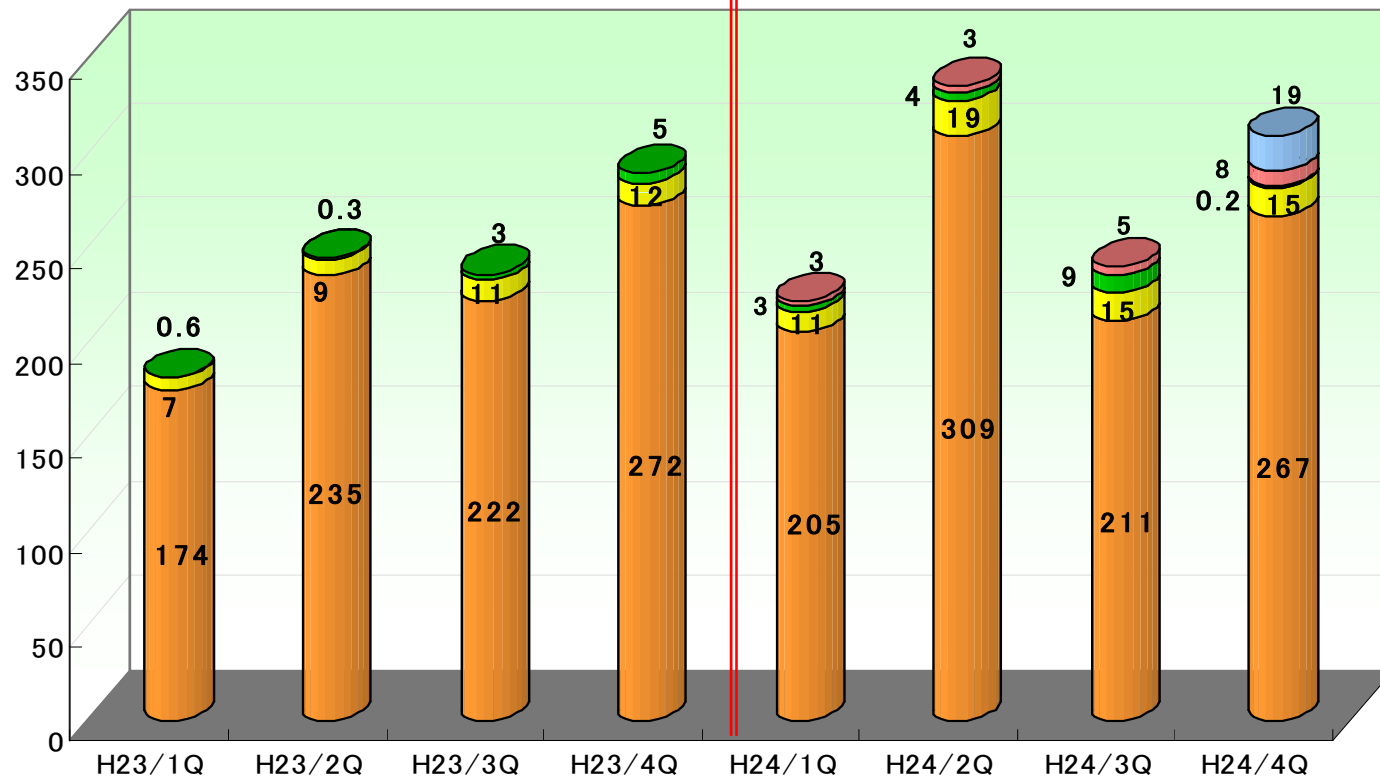


(単位: 百万円)	H23/3 1Q	H23/3 2Q	H23/3 3Q	H23/3 4Q	H24/3 1Q	H24/3 2Q	H24/3 3Q	H24/3 4Q
受取手数料	286	230	240	182	189	236	148	150
商品先物取引	286	230	240	182	188	235	148	149
金融商品仲介	0.1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.6	0.2	0.3
売買損益	△ 41	△ 30	28	45	2	△ 34	11	39
商品先物取引	△ 43	△ 30	28	44	2	△ 46	9	39
商品売買損益	2	-	-	0.3	0.03	12	2	-

# ＜生活・環境事業＞四半期営業収益の推移

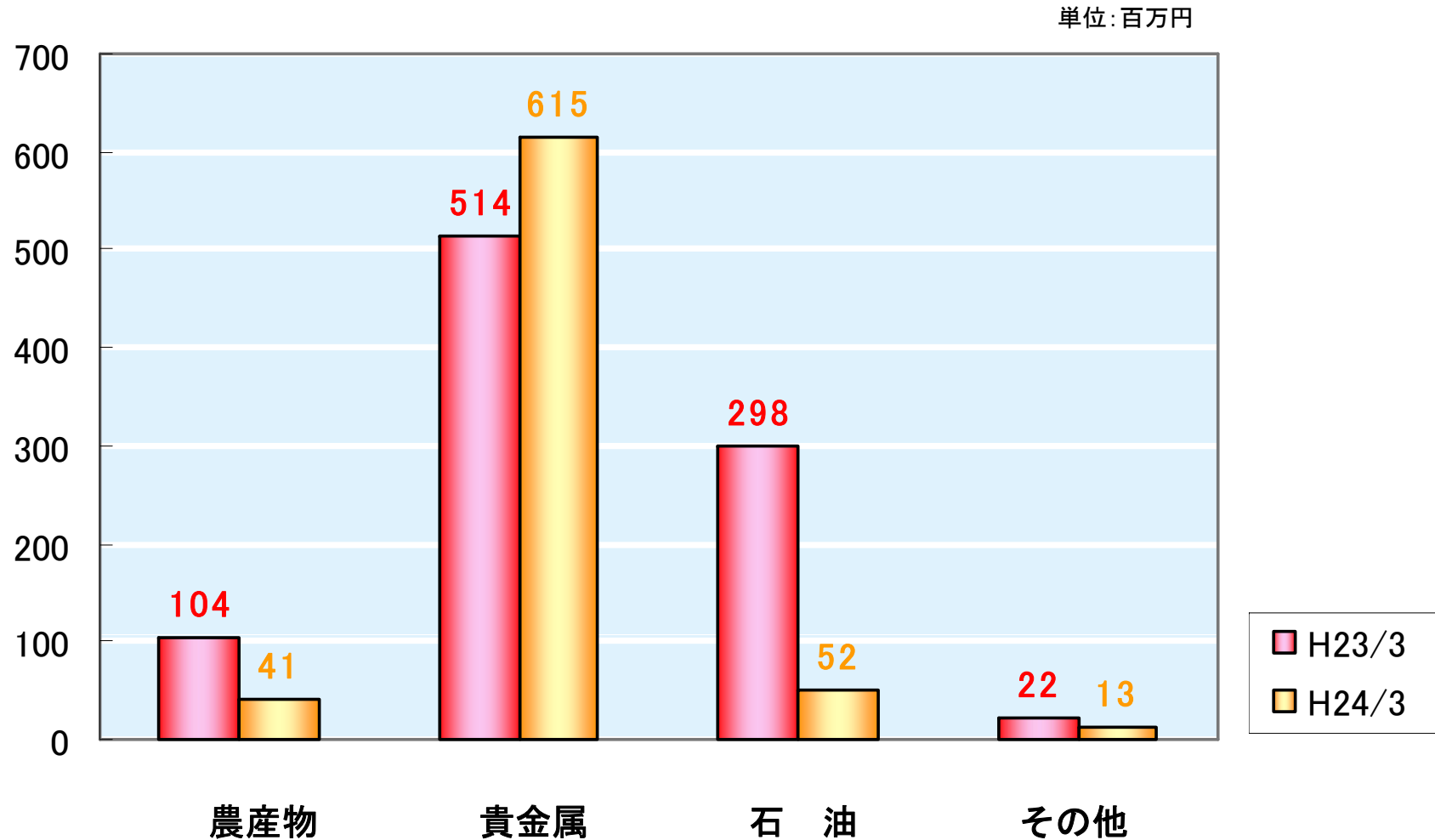
単位:百万円

- 不動産販売
- 不動産賃貸料
- LED照明の販売
- 保険募集 受取手数料
- 太陽光発電機・オール電化機器等の販売



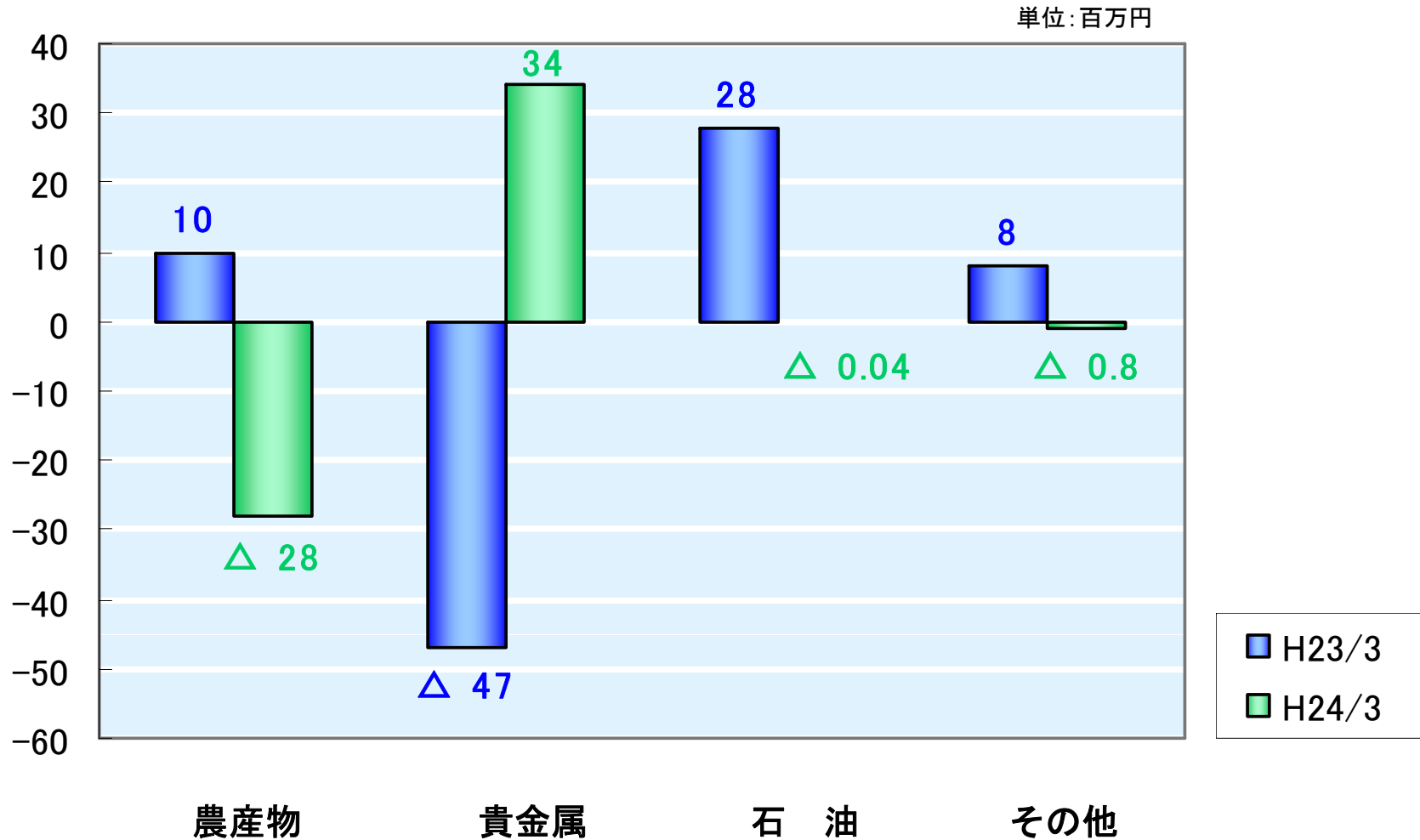
(単位:百万円)	H23/3 1Q	H23/3 2Q	H23/3 3Q	H23/3 4Q	H24/3 1Q	H24/3 2Q	H24/3 3Q	H24/3 4Q
太陽光発電機・オール電化機器等	174	235	222	272	205	309	211	267
保険募集 受取手数料	7	9	11	12	11	19	15	15
LED照明の販売	0.6	0.3	3	5	3	4	9	0.2
不動産賃貸料	-	-	-	-	3	3	5	8
不動産販売	-	-	-	-	-	-	-	19

## <商品先物取引> 受取手数料の市場別内訳(連結)





## <商品先物取引> 自己売買損益の市場別内訳(連結)



# 平成25年3月期業績予想について

---



# 平成25年3月期業績予想について

## 1. 平成25年3月期の業績予想の非開示について

- ① 予想作成時点において、(株)エコ&エコの取扱(5月11日開示)が未定であったこと。
- ② 予想作成時点において、映像コンテンツ配信の開始(5月23日開示)が未定であったこと。
- ③ 不動産の賃貸及び販売の業績見通しに不確定要素が大きいこと。
- ④ 商品先物取引業の業績が市場動向に大きく左右されること。

これらにより、確度の高い業績予想が困難であるため、平成25年3月期の業績予想は公表しておりません。

## 2. 平成25年3月期のセグメント別の取組及び見通し

### <投資サービス事業>

営業費用の削減(約10%)と受取手数料及び自己売買益の増収による黒字化を目標としております。但し、受取手数料と自己売買益は商品先物取引市場の動向に大きく左右されるため、増収による黒字化の達成については、現状では、流動的であります。

### <生活・環境事業>

以下の施策により黒字化を図って参ります。

- ① 保険募集業務 受取手数料30%増収を目標に営業基盤の拡大の努力を継続
- ② 不動産賃貸及び宅地建物取引 粗利益60百万円を目標に、賃貸及び販売用の良質物件取得を推進
- ③ 映像コンテンツ配信 6月から稼働、月間粗利益の想定は約6百万円、初年度(10カ月)償却負担は約30百万円、この他弁護士等のコンサルタント料7百万円を今期費用計上見込
- ④ LED照明の販売 競争の激しい汎用品分野からは撤退、ガソリンスタンド向け価格表示機等の限定分野で取扱を継続

※(株)エコ&エコが連結外となる影響は、営業収益(売上高)の減少要因となりますが、損益面の影響は軽微であります。

(注) 上記は、発表日現在における入手可能な情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであります。

当社の業績は相場動向や経済環境等により変動するため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: [keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp](mailto:keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp)